

SEEPS キャンプ 2025

概要・募集要項

2025 年 3 月 17 日 (Ver. 1)

SEEPS キャンプ 2025 実行委員会

企画趣旨

本企画は環境経済・政策学会（SEEPS）の未来を担う大学院生・若手研究者や民間企業等で活躍する若手コンサルタント等を集め、交流の機会を設けるイベントです。このイベントを通じて知り合った次世代がお互いに切磋琢磨し、将来的に学会等で活躍することを期待します。

今年度の企画概要

今年度の SEEPS キャンプの舞台は琵琶湖畔です。同志社大学の施設である同志社びわこリトリートセンター内にあるキャビンをお借りします。参加者がそれぞれ自己紹介をし、現在の研究計画や興味関心を発表します。また、中堅以上の環境経済・政策学の研究者からキャリア形成などの話を聞きます。

普段のオフィスから離れた琵琶湖畔の自然豊かな環境は、改めて環境と人間社会の関係性をみつめつつ、仲間と想いを共有しあうための絶好の場となるでしょう。このキャンプを通じて、環境経済・政策学の研究を志す同世代とのネットワーク構築を目指します。

日程

2025 年 7 月 31 日（木）から 8 月 2 日（土）

参加費

無料です。日本国内の拠点から会場までの交通費、宿泊費および会期中の食費が学会から補助されます。ただし、上記以外の実費が発生した場合は負担していただくことがあります。

会場の場所・宿泊先

同志社びわこリトリートセンター内キャビン

〒520-0501 滋賀県大津市北小松 山道 179（最寄駅：北小松駅）

<https://www.doshisha.ac.jp/information/retreat/index.html>

参加者全員で上記施設内の「キャビン1～3」の1棟に宿泊します。

<https://www.doshisha.ac.jp/information/retreat/overview/equipment/index.html>

他の参加者や実行委員との相部屋となります（個室を希望される場合は応相談）。施設の詳細は上記リンクを参照ください。お風呂は施設内の男女別大浴場あるいはキャビン内の個室バスルームが利用可能です。

参加者は北小松駅に現地集合します。

対象者

環境経済・政策学の研究を志す、応募時点で「修士号取得後 8 年以内の者」または「修士号を取得し博士（後期）課程在学中の者」または「博士号取得後 5 年以内のポスドク研究員や助教相当の職の者」が対象となります。日本の環境経済・政策学を盛り上げる熱意のある方を募集します。

SEEPS 会員でなくとも参加可能です。会員以外の応募を歓迎します。国外在住者の応募も歓迎します。（ただし、国外から日本での拠点までの旅費は補助されません。）

定員

8名（申込者が定員を超えた場合には選考委員会にて書類選考を行います。）

申込方法

下記2点をメールで期日までに送付してください。

- 1) CV または履歴書
- 2) 研究計画の概要（または研究成果の要旨）とこれから環境経済・政策研究に取り組んでいく上での抱負（合わせてA4で2ページ以内、様式自由）

上記はいずれも様式自由。言語は英語または日本語。

申込送付先：seeps-post@as.bunken.co.jp

（件名に「SEEPS キャンプ申込」と明記すること）

問い合わせ先

内容に関する問い合わせはメールで横尾英史（hidefumi.yokoo@r.hit-u.ac.jp）へ。

応募締切と結果通知の予定

2025年5月8日（木） 募集締め切り

2025年6月上旬 可否の結果をメールにて通知

参加時に必要なもの

- ・ノートパソコン
- ・運転免許証（一部の参加者のみ）
- ・宿泊に伴い必要なもの（衣類など）

なお、宿泊施設に備え付けのアメニティは、フェイスタオル、ボディソープ、リンスインシャンプー、ドライヤーです。ナイトウェア、バスタオル等をご持参ください。

参考：SEEPS キャンプ 2024 対面のプログラムと概要

https://www.seeps.org/pdf/event/camp2024_progreport.pdf

上記は2024年度の内容です。2025年度は開催地が異なります。

SEEPS キャンプ 2025 実行委員

実行委員長：阿部景太（武蔵大学）

実行委員：伊川萌黄（同志社大学）、Manuela Hartwig（東京大学）、野原克仁（立教大学）、岡村伊織（愛媛大学）

担当常務理事：横尾英史（一橋大学）

以上